

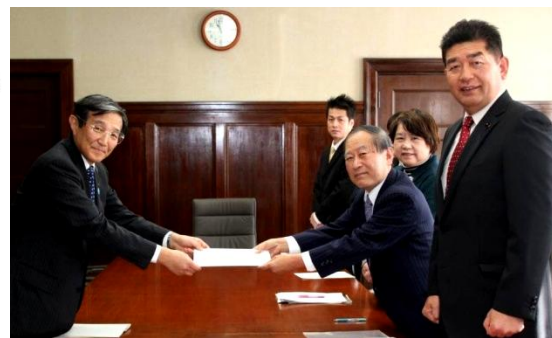
県会議員 奥村のり子 の
しんぶん赤旗 読者ニュース

2017年1月22日 第249号
 —奥村のり子生活相談所—
 〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11
 ☎&FAX 073-427-7121
 Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp



奥村のり子ら日本共産党県議団は、2017年度和歌山県予算について、228項目からなる申し入れ書を仁坂知事に提出し、懇談しました。
 和歌山市北部の和泉山脈におけるメガソーラー計画について、奥村規子県議は、住民のさまざまな不安の声を報告。仁坂知事は「住民がノーと言えば県は林地

来年度予算で知事と懇談
メガソーラー、教育、農業など



開発許可は出せない。そういう制度だ」と明言しました。また、県として来年度からの太陽光発電立地ガイドラインの施策を検討していると言えました。
 教育問題で日本共産党県議団は、学校現場で非正規で働く定数内講師が500人もいる問題について「10年前から取り上げ、県教育委員会はそのつど減らすと言っているが横ばいのままだ」と指摘。知事は、

定数内講師の削減は大事なことで」と同意しました。
 就学援助制度の入学準備金が7月にならないと支給されないことから、入学までに間に合うよう求めたのに対し、知事は「市町村に提案してみる」と応じました。
 農業問題で日本共産党県議団は、農業大学校と就農支援センターの機能強化を訴え、知事は働きながら学べる休日コースなど県の施策を紹介しました。また知事は、2016年度から始められた県の給付型奨学金は国で給付型奨学金がつかられても来年度も続けるとのべました。
 写真は1月13日、知事に申し入れ書を渡す党県議団（右側）です。

アベ政権打倒へ野党スクラム
 党大会で感動的シーン



15日～18日、共産党第27回党大会開催。初日はインターネットで生中継。史上初めて共闘する民進党、自由党、社民党、参院会派・沖縄の風の3野党1会派代表が挨拶。アベ政権打倒へ野党のスクラムの感動的シーンを翌日のしんぶん「赤旗」の「潮流」欄から要点をご紹介します。
 ▼どよめきとともに、割れんばかりの拍手が長く続く。ずらりと並んだテレビカメラ、2階の記者席もぎっしりの注目度。そのなかを「歴史的な使命を感じています」と緊張した面持ちでありさつに立ったのは安住淳・民進党代表代行。「度量と決意をもって市民とともに共通の敵に立ち向かおう」と呼びかけました。▼「野党協力の最大の原動力は共産党」。自由党の小沢一郎代表は声を大にしてもっともつと緊密な関係をと。社民党の吉田忠智党首はこの日の勢ぞろいが「選挙協力を加速させるものと確信している」▼各代表とも強調したのが、敬意と連携の大切さ、そして会場の熱気と温かさでした。野党共闘の「元祖」代表として沖縄から国会に送り出された糸数慶子参院議員は「感動的。こんなに仲間がいっぱいいるんだと勇気づけられた」▼画期となった党大会で突き合わせた團結のこぶし。始まった日本の政治の新しい時代をさらに前に動かす、確かな力です。
 (カット写真) 前列に3野党1会派代表の姿

新春のつどいから

みなさんこんにちは。中村あさとです。

1月13日、日本共産党新春のつどいがアバロームで開かれました。今年の新春のつどいには、昨年の参議院選挙で立候補された由良弁護士や市民連合のみなさん、また、和歌山大学など大学の教授が多数参加されていました。由良弁護士や市民連合のみなさんのスピーチでは、立候補の経緯や昨年の市民と野党の共闘の広がりや、参議院選挙での日本共産党との連携を振り返り党に対する信頼が深まったと語られました。つどいの冒頭では、3人の

党への連携と信頼の広がりを感じました



新春のつどいで声援を受ける3人の衆院小選挙区候補者

衆議院予定候補者からも決意表明がありました。1区の予定候補である原さんからは、この間の訪問のなかである方から、「おおっぴらには言えないが早く政権を取って欲しい」と日本共産党への期待の声を何度も聞いた事や、日本の憲法が、これまでのもめ事は戦争で解決しようという人類の歴史を大きく飛躍させた。と憲法の大切さを語り、衆議院選挙でも野党共闘を広げようと決意を述べました。

今年のつどいは、安倍首相の暴走が加速していることに対し、その暴走政治をストップさせようとの国民の力も、一層広がっている事を実感するつどいでした。

のり子の週刊日誌II (主なもの)

- 1月20日 市駅吉宗像前宣伝、年金裁判
- 21日 医生活協河北地区新年会、
- 22日 岩出市議選出発式、社保部会
- 23日 河西無料生活相談所、
- 24日 会議、メガソーラー対策会議
- 25日 カジノ問題(県市議員団会議)
- 26日 環境を考える会
- 市駅前事務所無料生活相談所

党市議会議員
 中村あさと

